

ダムができるまでの流れ

ダム事業の計画から工事、管理まで

これまでの事業の主な経緯

昭和59年(1984年) 宮城県 筒砂子ダム実施計画調査に着手
 平成元年(1989年) 宮城県筒砂子ダム建設に着手
 平成4年(1992年) 東北地方整備局 鳴瀬川総合開発事業に着手
 (鳴瀬川総合開発調査事務所を設置)
 平成18年(2006年) 鳴瀬川水系河川整備基本方針を策定
 平成19年(2007年) 鳴瀬川水系河川整備計画(大臣管理区間)を策定
 平成25年(2013年) ダム検証に係る対応方針決定

平成26年(2014年) 鳴瀬川水系河川整備計画の変更(筒砂子ダム規模拡大と漆沢ダム容量再編を記載)
 平成28年(2016年) 鳴瀬川水系河川整備計画の変更(筒砂子ダムのダム型式をロックフィルダムから台形CSGダムに変更)
 平成29年(2017年) 鳴瀬川総合開発調査事務所が工事事務所へ組織改編(調査段階から建設段階に移行)
 令和元年(2019年) 河川管理施設等構造令73条第4号 特殊な構造の河川管理施設等の認定(ダム型式を台形CSGとする事の大臣特認承認)
 令和2年(2020年) 環境影響評価書公告
 令和2年(2020年) 基本計画公示
 令和3年(2021年) 用地補償基準妥結
 令和4年(2022年) 鳴瀬川ダム工事用道路着手
 令和4年(2022年) 鳴瀬川水系河川整備計画の変更(筒砂子ダムの名称を鳴瀬川ダムに変更)



令和18年度(予定)

令和19年度(予定)

維持管理

ダムができるまで
 色々な場面が見られるよ。



※赤囲みは現時点(令和5年3月)の事業段階を表しています。
 ※工事用道路・試験湛水・漆沢ダム洪水調節専用化以外の写真は他ダムのイメージであり、管理設備は湯田ダム、その他は成瀬ダムのものです。
 ※現時点の計画であり、事業進捗により変更となる場合があります。